

性教育だより

～ 1年生 ふりかえり 号～

平成 29 年 7 月 19 日
大阪市立淀川中学校
性教育委員会

7月4日の5・6限に、大阪市立総合医療センターより助産師の^{みなみの}南 竺さんと福山さんに来ていただいて、性教育のお話をさせていただきました。どんな内容だったか覚えていますか？

大切なお話だったので、振り返ってみたいと思います。



命の始まりは、黒いカードの真ん中の小さな点ぐらいの大きさでした。



赤ちゃんがおなかの中で大きくなっていく様子を、人形などを使って教えてもらいました。はじめは小さな点ぐらいの大きさだったのに、10か月たつと、50cm、3000gぐらいまで大きくなります。



妊婦体験をさせてもらいました。
おなかに赤ちゃんがいて、歩いたり、下に落としたものを拾ったりするのも大変です。

・・・感想の一部を紹介します・・・

- ・配られた黒画用紙の穴が卵の大きさと知って、びっくりしました。
- ・僕たちが生まれたのは奇跡だと思いました。精子は3億分の1の確率で受精するので、3億分の一人に産まれてよかったです！
- ・生きることや生まれることは当たり前だと思っていたけど、そう簡単ではないことが分かった。
- ・妊婦体験をして、おなかの中の赤ちゃんを傷つけないように下のものを拾うのが難しかった。すごく大変だと思った。
- ・親から授かった大切な命を大事にしようと思いました。
- ・赤ちゃんを産むのはとても痛そうだし大変。でも、赤ちゃんが生まれると、お母さんがとても笑顔になっていて、命一つでも生まれるとこんなにうれしいことなんだと思いました。
- ・お母さんが一生懸命苦労して、しんどい思いをして命がけで産んでくれて、ここまで育ててくれて、お母さんに感謝しています。
- ・自分が生まれるときはどうだったのか、聞いてみようと思いました。
- ・相談できる相手を見つけておくことが大事だと思いました。

・・・お話のまとめ・・・

- ☆みんなに大切にしてほしいことは、『心』『体』『環境』です。
- ☆自分の命は大切に、人の命も大切に、あなたはとても大切な人です。
- ☆困ったときは両親、先生、信頼できる身近な大人に相談してください。